




取扱安全上のご注意

使用前の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ、ご使用ください。
また、この取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に保管してください。
この取扱説明書の中での使用している表示とその意味は右欄のとおりです。

	警告	誤った取換を行った場合、危険な状況が起こり、感電による死傷事故に発生する可能性があります。絶対に守らなければならない「禁止」事項です。
	禁止	絶対行わない「禁止」事項です。
	強制	必ず実行していただく「強制」事項です。

使用上の注意事項

- 換電時の確認**
- ① 外観・構造に異常がないこと(ケースなどにヒビ、割れ、カケがないこと)を確認してください。導電性クリップに汚れがないことを確認してください。異常がある場合は絶対に使用しないでください。
 - ② 本体の表面が汚れている場合には、きれいな乾いた布で拭き取ってからご使用ください。
 - ③ シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で拭かないでください。
 - ④ (2)本体の表面が水滴、水膜に覆われているような状態では使用しないでください。
 - ⑤ (3)電池(付属)を入れたとき、(電池取替方法を参照してください)
 - ⑥ (4)切替スイッチを「試」レンジにセットし、新換電池(ランビシオン®)が接続することを確認してください。このとき、発音発光しない、音が小さい、光が弱いときは電池を2個とも新品に取替えてください。付属の電池は検知器搭載の電池ですので、早めの交換をお勧めします。
 - ⑦ (5)送料に電池は遠征や取り外しが必要です。漏液などによる故障の原因になります。
 - ⑧ (6)予め判別している異常電圧などでは動作を確認してください。
(「試」レンジによる動作確認だけでは不十分です)
 - ⑨ 発音発光しない場合は換電機が故障している可能性がありますので、絶対に使用しないでください。
 - ⑩ (7)リード線を使用する際は、先端金属部〜クリップ間の内部抵抗値が2.5MΩ以上であることをメータ等で確認してください。



△ リード線は付属のリード線を必ず使用してください。

使用方法

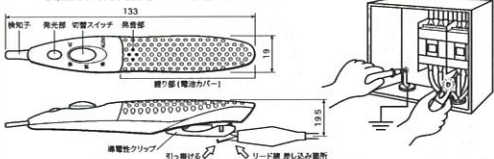
< AC換電 >

- (1) 切替スイッチを換電対象電線に合わせて切り替えてください。
対象電線が導線の場合「導」レンジ、被覆線の場合「被」レンジにセットしてください。
- (2) 本体の裏面(電池カバー全体)と導電クリップを手のひらで包み込みよっぽかり取り付け、検知子を電線に接触させてください。導電クリップに接触しない状態、裏面を浅く覆った状態、指でつまんだ状態では動作感度が鈍り、正確な換電ができません。
被覆線の場合は検知子の根元をあててください。



< DC換電 >

- (1) 切替スイッチを「検」レンジにセットしてください。
- (2) 口を広げたリード線のクリップをリード線差し込み箇所へ差し込み、導電性クリップの引っ掛け穴に引っ掛けてください。リード線をしっかり接続しないと換電ができません。
③ 本体の検知子を電線の導体に接触させ、リード線の先端金属部を接地側端子に接触させてください。
※被覆線及び非接地回路ではDC換電は出来ません。



換電時の注意事項

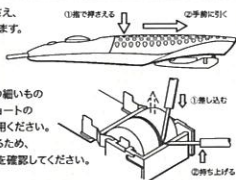
- △ (1) 高圧電路(AC600V級/DC750V級)には使用しないでください。
人体や本体が電線の電路からの誘導電圧を受けているときに換知子アースがあると動作することがあります。また、高圧電線の近くでは動作状態になることがあります。
- △ (2) 絶縁されていない金属管や金属ケースなど、誘導電圧で動作することがあります。
- △ (4) 接地劣光電圧設備は、電路が使われていない、または(パワー)コンディショナーや閉路器の装置にDC非接地回路となることがあります。
そのような場合は「使用方法-DC換電-(3)」に記載の方法では通常の換電はできません。
DC非接地回路は被覆線電圧による換電で電圧の有無を確認してください。
- ① (5) 被測定物やその周辺に触ると感電が想定される場所での測定には、絶縁保護用具を着用してください。
- △ (6) 測定されている電線(リード線のケーブルなど)では換電できません。
- (7) 動作感度は本体の裏方、あて方などによって変わることがあります。
- ② (8) 口中で使用したり、水の中に入れてはいけません。(防滴構造ではありません)
- ③ (9) 使用温度範囲(0℃~+40℃)以外の温度では使用しないでください。

換電時の注意事項

※換電時以外は切替スイッチを「検」レンジにセットしておくことで不要動作が起こりにくくなります。

電池取替方法

- (1) 電池カバーの発音口部分(4の口)を指で押す。
手動引いてください。電池カバーがスライドします。
- (2) ①電池を取り出し、②個とも新しい電池に交換してください。このとき、発光(電圧)を測定できるように十分注意してください。
測定できないようにしている場合は、④のように先の細いものを使用して取り外してください。なお、電池のシューの接触があるため、絶縁性のものをお使いください。
- (3) 電池付近に引けられていることを確認するため、切替スイッチを「試」レンジにして発音発光動作を確認してください。
- (4) 電池カバーを取り付けてください。



保管・維持・管理時のご注意

- ① (1) 直射日光の当たらない陰湿したところに保管してください。
- ② (2) 夏場の車内など、高温になるところに長時間放置しないでください。
- ③ (3) 分解・改造やご自身の修理は絶対に行わないでください。
- ④ (4) 強い衝撃や振動などを与えないでください。
- ⑤ (5) 廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。
- ⑥ (6) 使用済電池は各地方の自治体の指示に従い、適切処分してください。
- ⑦ (7) 長期使用しない場合は、電池を取り外してください。
- ⑧ (8) 導電性クリップは無理に開かないでください。
可動範囲を超えて開いた場合、破損する可能性があります。

修理について

電池の消耗、測定コードの新換を確認してから、輸送中に破損しないように充分梱包した上、下記サービスセンターまたは取扱店までお送りください。

〒717-0045 愛媛県西予市宇和町坂宇480
 共立電気計器株式会社 愛媛工場 サービスセンター 修理グループ
 TEL 0894-62-1172 FAX 0894-62-8531

保障規定

- 保障期間中に生じた主な故障は、以下の場合を除き無償で修理いたします。
1. 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用方法、保管方法が原因で生じた故障
 2. お買上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなどの異常な衝撃が加わって生じた故障
 3. 弊社のサービス担当者以外の改造、修理、オーバーホールが原因で生じた故障
 4. 火災、地震、水害、公害及びその他の天災地災が原因で生じた故障
 5. 傷など外観上の変化
 6. その他弊社の責任と見みなされない故障
 7. 電池などの消耗品の交換、補充
 8. 保証書の提出がない場合